

南山中学校区 地域ぐるみ ふれあい会議 第2回報告

～ふだんの高齢者の見守り・支え合い～

平成26年8月8日（金）、第2回南山中学校区ふれあい会議を開催しました。今回は、「今、高齢者が困っていること・希望していることってなんだろう」というテーマで、グループでの話し合いを行いました。介護保険サービス事業者・民間事業者・民生委員・自治会長さんなどなど、様々な立場の方々、19名がご参加くださいました。

1. ふれあい会議の目的の説明

高齢になっても、安心して住みやすい地域であることを目指し、高齢者の暮らしを見守り、支える「取り組み」を話し合う場であることをお伝えしました。

** 検討する「取り組み」のイメージ **

地域住民・地域の団体・民間事業者や介護保険事業者・行政等が、役割分担をしながら、協働して取り組めような取り組み

高齢者や、その家族の、実際の困りごとや希望に即した取り組み

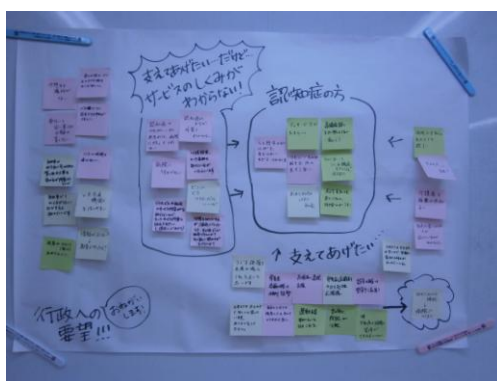
行政のみが取り組むべきものについては、意見として伺いますが、継続的には話し合いません（行政に持ち帰って検討）。

2. 今日の話し合い

3つのグループに分かれ、自己紹介の後、各参加者の立場から感じている高齢者の「困りごと」「希望していること」を話し合ってもらいました。



同じような内容をまとめ、見出しをつけました。



特に困っていることはピンク、それ以外の困りごとは緑、希望していることはクリーム色のポストイットに、各自記入



～皆さんから出た意見やまとめを次のとおり整理しました～

認知症の方のご家族支援・関わり方

認知症の人への接し方が判らない人が多いと思う。

認知症かどうか外見で分からない

認知症の方がふらっと館にいらっしゃる

面倒を見てくれる人が近くにいないのか分からない

自分の身に起こったと仮定して、具体的に考えてみる

認知症の方の家族も遠方で、協力が得られない。

介護者は複数の方が良い

認知症の方を介護している方の負担が心・体ともに大きい。

認知症の家族会に参加するときに送迎サービスがほしい

認知症の家族の持つ方の話を聞く機会があれば

NHK 番組などを利用して、話し合う会を多く開く

認知症の人と実際に接する機会があると良い

認知症の方の話し相手や声かけ

支えてあげたい！ でもサービスの仕組みが分からない。

認知症の相談が出来る場所の充実が必要（周知不足）

デイサービスや施設のサービス内容を知らないのもっとサービス内容を伝えてみたい（選択肢があること）。

情報が足りない。
⇒教育でやったら？

「介護認定」という事柄自体を知らない方がいる

介護をされている方がご病気になったとき、その後どこに相談できるのか？その前にかかわりがもてないか？

認知症の疑いがあるのに病院に行ってくれない

病院に行きづらい

80才みんなで検診！病院につなぐ。

高齢者・認知症の方の思いや様子

高齢者扱いしてほしくない

知り合いを作ろうとしない

デイサービスが大嫌い

うちにいるのが好きで、外に出てこない

老人会などがあっても出ない。**付き合いが薄い。**

運動不足・用事がないと**引きこもる**

人と話すのが苦手、気を遣いすぎて疲れてしまう

お年よりは声をかけてほしいと思っています。**あいさつをしてください。**

認知症があっても、いつでも気軽に立ち寄れる場所、おしゃべりできる場所がほしい。

ご主人や奥様を亡くし、ふさぎこみがちに。それにより認知症が発症・進行する例も

認知症を患っておられる方でも、私は認知症という病気を認識している人もいる

軽度認知症の方が、運動できる場所を希望している（軽スポーツ）

認知症を理解している人に接してほしい。

子どもさんと、認知症の方のふれあいが出来ると良い

認知症を患った方による子育て支援

事業所へのボランティアはとてもありがたい。しかし、**認知症を患った皆様も、ボランティアに向きたい。**ただ、何らかの形で支援は必要

認知症を患っていても、元気な高齢者が多い。たくさんな事がまだまだできる

認知症の方が生活に対しての不安を感じ、近隣の方とトラブルになってしまう

医療・通院や受診支援

かかりつけ医の認知症
対応力の向上

認知症が疑われたらスムーズに
専門医へと紹介するシステムづ
くり。専門医から市へ

病院内を案内したり誘導する
ボランティアがいれば。

一般医で簡易認知度テストを高齢者に
いつでもできるアイテムがあれば

予防医療
の充実

高齢者の通院支援

医療ネットワーク
が充実した地域

在宅医療の充
実した地域

高齢者の困りごと 希望していること

参加者の皆さんの意見のほか、地域包括
支援センター職員から出た意見も加えま
した。**ゴシック赤字**は、地域包括支援セン
ター担当が加えたものです。

- …ピンク：特に聞いてほしい困りごと
- …白：特に！以外の困りごと
- …オレンジ：要望・取り組みのアイデア



生活支援

(お買い物・ゴミ出し・プチお手伝い)

認知症の方は**ゴミ出しが大
変**、曜日等混乱される

ゴミ出しの苦勞
時間

**ごみ出しのとき、間違えて近所
の人に怒られ**、そのあと毎回落
ち込んでしまう・・・(認知症
の方より)

車がないと安い**買い
物**、日用品が買えない

住まいの問題

電球が切れた時の取替え

エレベーターなしに
お住まいで、**買い物・
通院等で昇降が不便**

買い物が重いとき、手伝っ
て運んでほしい時がある

高齢単身者の**ごみ
処理応援隊**があ
るとよい

エレベーターがない5階
建てマンションが多いた
め、**階段の昇降が大変**

草取りの時、手伝ってほ
しい時がある

段差が高くて
上がりにくい

個人情報どうする？ & 緊急時対応は！

困った時の連絡手
段・自発的に発信で
きない

個人情報が大切なのか？孤立
化防止が大切なのか？**個人情
報が孤立化を増大**している

地域の情報が判らない

安否確認の方法がない

住人の名前が判らない時が。**郵便
ポスト等に名前**をつけてほしい

団地であり、**高齢・独居
の方の把握がしにくい**

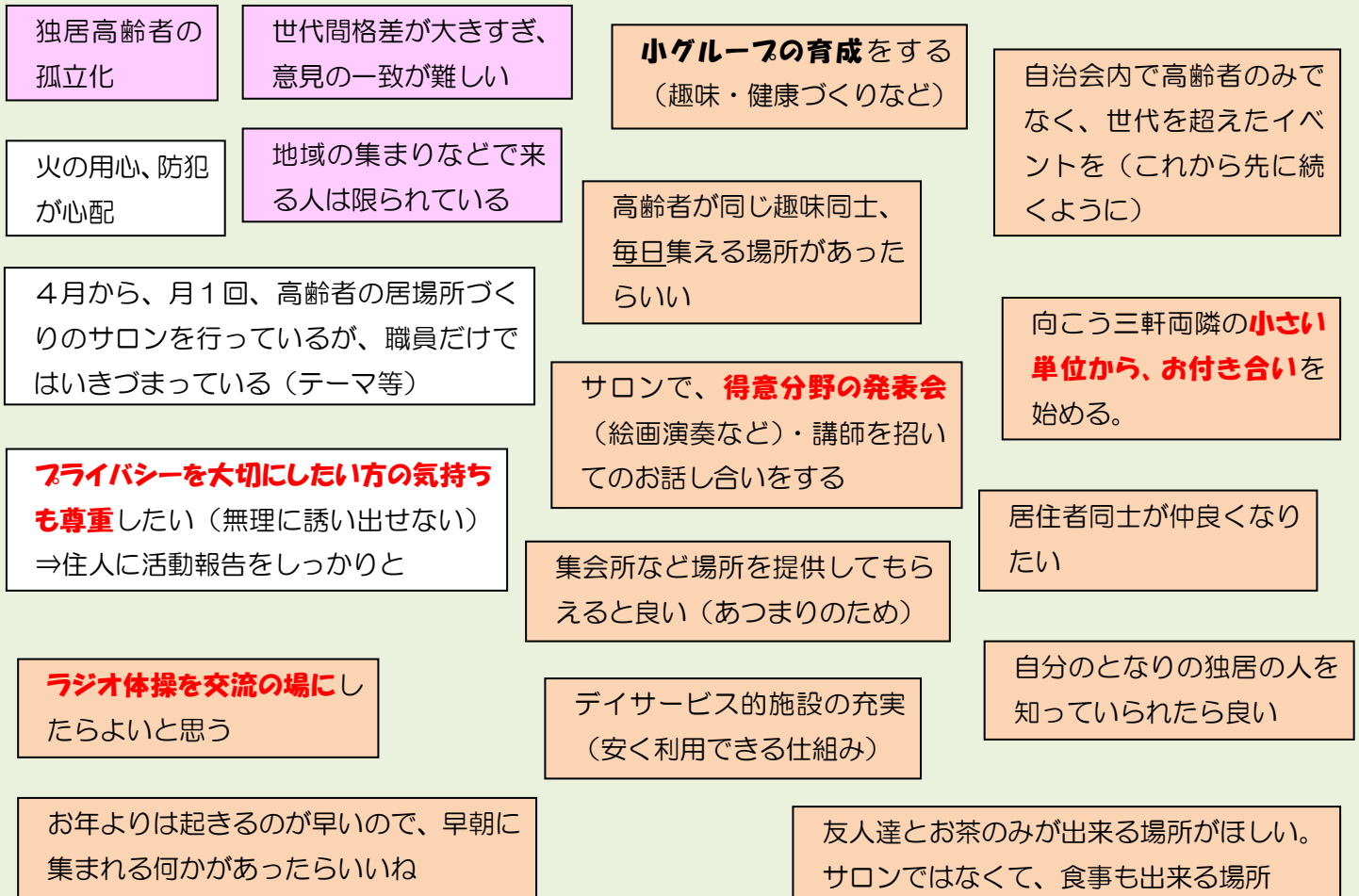
独居者で親族との関係が疎
遠、親族がいない人の施設
利用時・入院時対応

単身者の急病の時の
手助け態勢

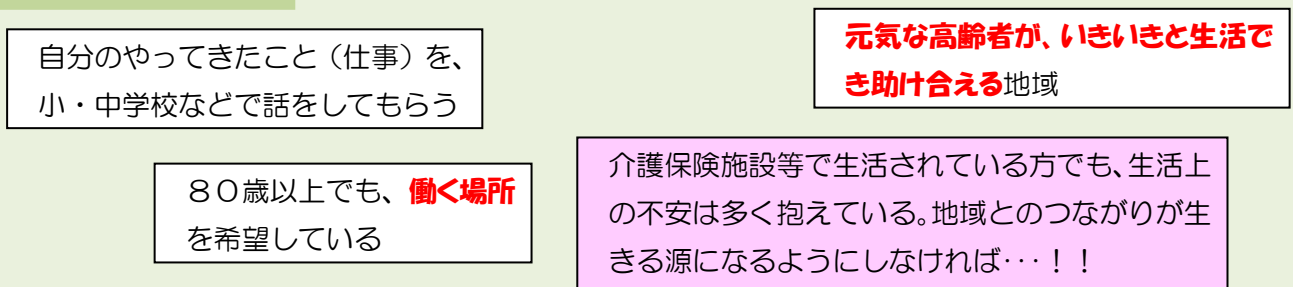
団地のため、何かあっても**鍵が
開けられない**

緊急時の連絡を受けら
れるところがあれば

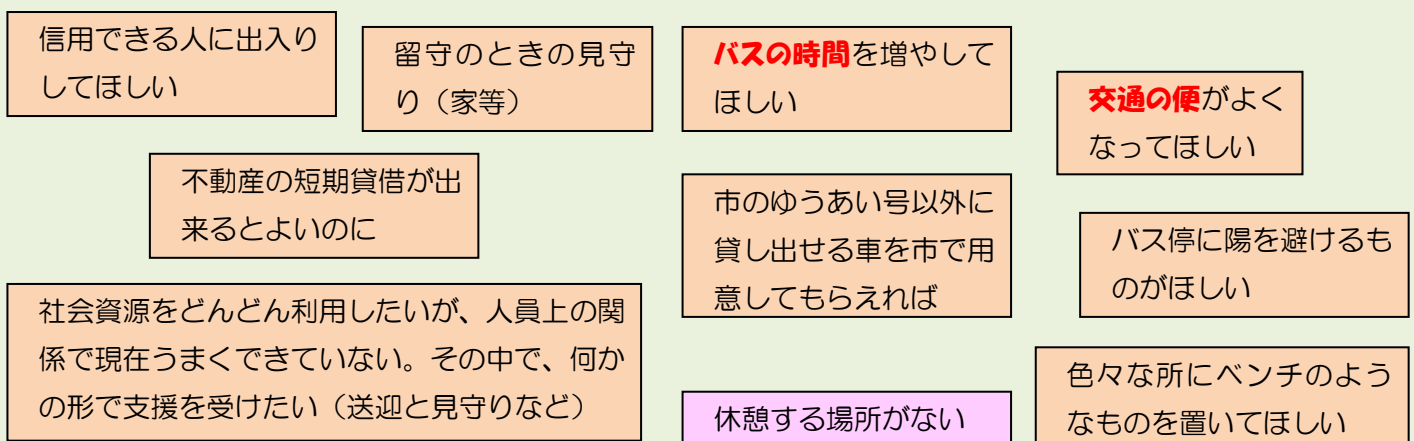
住民(コミュニティ)の交流のあり方は？+サロン活性化



高齢者の役割づくり



こんな取り組みがあれば&市への要望



3. これまでに出ている住民の声も共有

平成 23 年の地域福祉計画策定時、住民座談会で出された課題・平成 26 年の第 6 期介護保険事業計画策定にあたっての基礎調査（住民アンケートや介護保険事業者ヒアリング）で出た「困りごと」も、共有しました。

【これまでに出ている困りごとや要望など（一部）】

地域福祉計画策定時に南山中学校区住民から出た困りごと H23.9

<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応の医療機関が少ない。 ・買い物難民問題。 ・エレベーターが停まらない階がある。 ・食事会への参加率が少ないなど、高齢者に高齢化の意識がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の見守り。 ・要介護者名簿問題。 ・オートロックマンションの問題。
---	---

第 6 期介護保険事業計画策定に向けた基礎調査結果 H26.2～3

分類		内容
認知症・要介護者の隙間支援	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の母を介護していたとき、手探り状態だった。 ・通院の時に付き添ってくれる人がほしい。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がいても日中独居、歩行に問題があって買物に行けない。認知症などで食の準備が出来ないなど多岐にわたる。
買い物困難・事業者への期待など	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者を孤立させないネットワーク作りが必要。安否確認や、買い物弱者のための宅配サービスなど。地域の人々、コンビニ、スーパー等も取り込んだネットワーク網の構築が有効だと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・取りに来てくれるごみ個別収集、買い物御用聞きシステムがあると 1 人暮らし高齢者は助かる。 ・腰が悪いため、長く歩くことが出来ず、色々な店の買い物に行けない。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し、灯油、などの買い物を近くの人には頼みにくいという理由で依頼を受けることがある。 ・近くに住んでいても、介護保険事業所の存在を知らない人がいる。介護保険のことを、自治会単位の小規模な集いで介護事業者から説明する必要を感じる。
地域交流見守り	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものいない夫婦は将来のことがとても不安。近所や市に参加できるサロンやイベントがあり、何かあったら連絡できるどころ、毎日大丈夫か確認しあえる存在などを充実させてほしい。 ・介護認定を持たないものが、気軽に立ち寄れるサロンがほしい。 ・高齢になり車を手放すと、買い物やサークルにも行きづらくなる。近くのスーパーと家の往復のみとなり、会話がまったくない日が出てくるかもと心配。 ・催し物の際に送迎があると良い。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・独居や高齢者のみ世帯の方は、元気なうちは良いが、病弱になると孤立化してしまう。家族や地域との関係が薄い方は孤独死もあった。
住まい・その他の心配	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪で雪かきが不安に。高齢者になると一軒家には住めないと考えられた。 ・団地にエレベーターがないため、将来歩行困難になった場合の不安がある。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・今年に入り介護保険申請が増大、独居・高齢者世帯に係る不安が表面化してきている団地地域がある。何年後どころか、既に高齢化の嵐が始まっている。

4. 次回からの進め方 ・ 参加の意向確認

今回出てきた「困りごと」や「希望」をふまえて、次回から、地域・行政が協働で出来そうな取り組みを検討していききたいと思います。当初、事務局から提案したテーマは、次のとおりです。

A 認知症の症状がある人が地域でくらししていくために周りの人が支援できること

B 事業者（民間・介護保険）と連携した高齢者生活支援のアイデア

今年度は、上記2つのテーマについて、メンバーを固定して、グループで話し合いを進めていきたいことを提案しました。そのうえで、今後、グループに入って話し合いに参加されるかどうか・他のテーマの希望があるか、アンケートで意向確認をさせていただきました。

8月、ご参加くださった多くの方が「今後も参加できる！」と回答してくださいました。また、グループで話し合うテーマについては、上記以外に、「サロン」「**高齢者・独居者支援**」という希望がありました。グループのテーマについて、皆さんから出た「困りごと」も踏まえ、地域包括支援センターで話し合い、次のグループを増やしてはどうか、という結論になりました。

前回、A や B で希望を出したけれども、C に変更したいという場合は、9月ふれあい会議時にお知らせください。今回欠席だったけれど、今後参加したい！という方は、9月の会議でお知らせいただくか、9月欠席の場合、地域包括支援センター 今井・鈴木までご連絡をください。

C 高齢者・独居者支援
(ゴミ出しや買い物・見守りなどの支援)



新しいテーマ！

5. ふれあい会議 今後の日程

今回は、**9月12日(金)午後2時~**です。8月ご欠席のみなさまも、是非ご参加ください♪

【 今後の開催予定 】 毎月第2金曜日 午後2時 ~ 午後4時ごろ

平成26年9月12日・10月10日・11月14日・12月12日

平成27年1月9日・2月13日 ※ **場所は、毎回 白井駅前センター** です。

白井市高齢者見守りネットワーク事業がはじまりました



昨年度、南山中学校区の中心メンバー会議でご意見をいただいた、「白井市高齢者見守りネットワーク事業（愛称：しろい高齢者みまもりネット）」が始まりました。中心メンバー会議での意見をふまえ、民間事業者の他、地域の様々な団体や機関も含めたネットワークになりました。白井市全体、小学校区単位、様々な立場の方にご協力をいただいて、見守りの目を増やしていきたいと思えます。昨年度会議では、活発なご意見をいただきありがとうございました。

みまもりネット協力者の目印

7/17 協定書締結式、連携会議を行いました



「高齢者の見守り」ネットワーク担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 鈴木・今井

電話 047-497-3474 FAX047-498-4832 メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp

地域福祉計画（地域ぐるみネットワーク）担当

白井市 健康福祉部 社会福祉課 厚生班 電話 047-497-3482